



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関 勇一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 綿谷 努

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,569	21.4	50	△96.5	552	△73.5	327	△77.2
27年3月期第2四半期	19,417	△10.8	1,469	46.2	2,083	112.1	1,439	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	8.90	—
27年3月期第2四半期	39.10	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	97,957		43,223			44.1
27年3月期	102,395		43,539			42.5

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 43,223百万円 27年3月期 43,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,800	16.0	1,800	△34.9	2,300	△34.2	1,300	△51.3	35.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	36,800,000 株	27年3月期	36,800,000 株
28年3月期2Q	1,244 株	27年3月期	1,244 株
28年3月期2Q	36,798,756 株	27年3月期2Q	36,798,767 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や円安、原油価格の下落等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当事業につきましては、チタン事業では、国内向けでユーザーでの在庫調整が前事業年度末で概ね終了したことに加え、一般産業用展伸材需要が回復基調で推移したことにより販売数量が増加しました。この結果、チタン事業の売上高は15,263百万円（前年同期比34.5%増）となりました。なお、輸出、国内向けともに需要回復基調が確かになったことを受け計画どおり第2四半期よりスポンジチタンの増産に入っております。

ポリシリコン事業では、半導体需要は回復傾向にあるものの、半導体用ポリシリコンの需給調整は継続しているため、売上高はほぼ横ばいの7,088百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

高機能材料事業では、半導体需要の増加に伴う高純度チタンでの需要増や液晶分野でのTILOP（タイロップ）の堅調な需要を主体に粉末チタンの販売数量が増加したため、売上高は1,216百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は23,569百万円（前年同期比21.4%増）と増収となりました。一方、利益につきましては、販売量の増加やコスト合理化による好転はありましたものの、たな卸資産評価損の戻入益がなくなったこと、また販売数量の増加に見合う増産には電力の年間契約の制約や稼働中の流動塩化炉の生産制約があり、これらの切替に増加コストが発生することから当第2四半期累計期間の販売を在庫出荷での対応としたこと等により、営業利益は50百万円（同96.5%減）、経常利益は552百万円（同73.5%減）、四半期純利益は327百万円（同77.2%減）と減益となりました。

(参考)事業別売上高

(単位：百万円)

		当第2四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	7,372	3,801	93.9
	輸出	7,891	7,546	4.6
	計	15,263	11,347	34.5
ポリシリコン事業		7,088	7,072	0.2
高機能材料事業		1,216	997	21.9
合計		23,569	19,417	21.4

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は、97,957百万円と前事業年度末と比べ4,438百万円減少いたしました。これは、売掛金が増加したものの、棚卸資産及び有形固定資産が減少したことが主な要因であります。

②負債

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、54,733百万円と前事業年度末と比べ4,122百万円減少いたしました。これは、借入金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、43,223百万円と前事業年度末と比べ315百万円減少いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したものの、配当金の支払により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2015年4月28日発表の通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。

2016年3月期 通期業績予想値の修正 (2015年4月1日～2016年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,300	1,800	1,800	1,000	27 17
今回修正予想 (B)	46,800	1,800	2,300	1,300	35 33
増減額 (B-A)	2,500	0	500	300	—
増減率 (%)	5.6	0.0	27.8	30.0	—
(ご参考) 前期実績 (2015年3月期)	40,356	2,764	3,496	2,666	72 47

(修正の理由)

売上高につきましては、4月時点の予想値に対し為替水準が円安基調で推移していることに加え、チタン事業で国内向けを主体に販売数量が増加すること等による増収を見込んでおります。

利益につきましては、円安効果による好転があるもののチタンの販売増が在庫出荷での対応となることと、チタンの一段の増産の準備に関わるコストの影響もあり、営業利益は4月時点の予想値を据え置き、経常利益及び当期純利益は第2四半期累計期間での為替差益と事業再構築引当金戻入益の計上により、4月時点の予想値を上回る見込であります。チタンの増産準備コストは、来期に一段の拡販が見込まれることから今期末から一段の増産体制を敷く計画であり、これに伴い休止設備の追加整備費用や期間工の追加増員等に関わるコストの発生を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2015年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,467	1,288
受取手形及び売掛金	12,107	15,443
商品及び製品	12,173	8,056
仕掛品	5,251	4,343
原材料及び貯蔵品	5,514	6,794
その他	843	854
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	39,355	36,777
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,211	13,862
機械及び装置（純額）	28,518	27,307
土地	16,028	16,028
建設仮勘定	557	653
その他（純額）	932	849
有形固定資産合計	60,247	58,701
無形固定資産	1,130	1,020
投資その他の資産	1,662	1,457
固定資産合計	63,040	61,180
資産合計	102,395	97,957

(単位：百万円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2015年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,573	3,506
短期借入金	18,040	17,790
未払法人税等	426	208
設備関係支払手形	129	138
設備関係未払金	376	541
賞与引当金	393	375
事業再構築引当金	625	299
その他	958	756
流動負債合計	24,522	23,617
固定負債		
長期借入金	31,290	28,000
資産除去債務	1,300	1,313
退職給付引当金	1,669	1,712
その他	74	89
固定負債合計	34,333	31,116
負債合計	58,856	54,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	25,763	25,539
自己株式	△9	△9
株主資本合計	43,436	43,212
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	152	72
繰延ヘッジ損益	△49	△60
評価・換算差額等合計	102	11
純資産合計	43,539	43,223
負債純資産合計	102,395	97,957

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
売上高	19,417	23,569
売上原価	15,621	21,183
売上総利益	3,795	2,385
販売費及び一般管理費	2,326	2,334
営業利益	1,469	50
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
為替差益	243	198
不用品売却益	55	67
受取賃貸料	23	21
補助金収入	486	92
事業再構築引当金戻入益	-	226
その他	5	16
営業外収益合計	817	626
営業外費用		
支払利息	161	110
休止固定資産減価償却費	15	5
その他	26	8
営業外費用合計	203	124
経常利益	2,083	552
特別損失		
固定資産除却損	195	55
ゴルフ会員権評価損	-	4
特別損失合計	195	59
税引前四半期純利益	1,888	492
法人税等	449	164
四半期純利益	1,439	327

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	11,347	7,072	997	19,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,347	7,072	997	19,417
セグメント利益	729	615	125	1,469

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当第2四半期累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	15,263	7,088	1,216	23,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,263	7,088	1,216	23,569
セグメント利益	333	△410	127	50

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。